

2 生徒の様子は・・・



【運動部】 野球、ラグビー、
ソフトテニス、バレー
卓球、剣道（休部中）

【文化部】 箏曲、美術 【臨時】 陸上、駅伝



< R 6 の活躍（新人戦・県大会出場） >

○箏曲部

TBSこども音楽コンクール
川越予選最優秀賞⇒東日本大会へ

○ラグビー部 市予選優勝

○ソフトテニス部

市予選個人3位（寺井・松岡ペア）

○卓球部

市予選ダブル3位（松崎・丸山ペア）

○陸上部

市予選 男子走幅跳 優勝 藤井くん
1年女子100m 優勝 今さん

○美術部

県献血ポスターコンクール
県保健医療部長賞 岩本くん



切磋琢磨する部活動

体育祭



秋桜
コンサート



三年生を
送る会



学校行事に全力投球

1年
神川体験学習



2年
大滝林間学校



3年
修学旅行



リーダーが活躍する宿泊行事

3 どんな研究に取り組んでいますか？

R5・6 熊谷市教育委員会 人権教育学校研究委嘱

<研究主題>

自ら考え、判断し、自他を大切にする生徒の育成

～主体的・対話的で深い学びの視点から

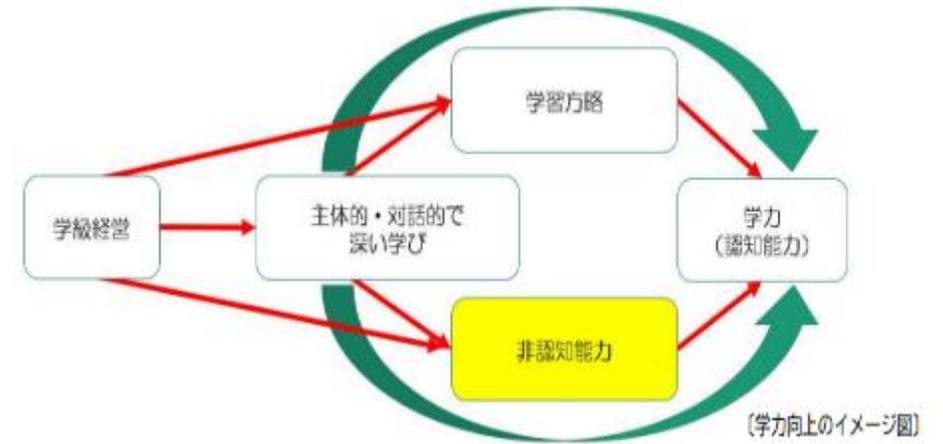
自尊感情を高める教育活動の実践～

「自尊感情」とは・・・
奈良中の研究では、
○自己に対して肯定的な評価を
いただいていること
○非認知能力の一部 と捉える

- 令和5・6年度熊谷市の委嘱を受け人権教育の研究を進めています。
- 知・徳・体のバランスの取れた学力を育成しています。

<埼玉県学力・学習状況調査の分析より>

- ・学級経営がよいほど「主体的・対話的で深い学び」が実現しやすい。
- ・「主体的・対話的で深い学び」は、生徒の「学習方略（学習の仕方）」、「非認知能力（自己効力感、やり抜く力など）」を向上させる。
- ・その結果、学力が向上する。



奈良中学校では、居心地の良い学級を作り、

- ①主体的・対話的で深い学びを充実させ、**わかる授業**を実践します。
- ②自尊感情（≡非認知能力）を育むため、**ほめて伸ばす教育**を実践します。
- ③ **SDGs**を推進し、人権に関する知識と人権感覚を育みます。

校長

企画委員会

校内研究推進委員会

コツコツ部

(授業研究部会)

- 主体的・対話的で深い学びを意識したわかる授業の実践
⇒ねらいとまとめの明確化
⇒日常的なICTの活用
⇒個別最適・協働的な学びの実現
- 道徳教育の充実
⇒考え議論する道徳授業の実践
⇒道徳の見える化の推進

ニコニコ部

(人間関係育成部会)

- 学校行事・生徒会活動の充実
⇒スキル教育の活用
- SDGs (人権) の実現
⇒人権教育の充実

ワクワク部

(環境整備・調査部)

- ピグマリオン効果の活用
⇒学年、学級、個人
- 言語環境・掲示物の充実
- 道徳教材・ワークシートの共有
- アンケート調査・分析

組織図